

安倍川取組状況一覧

資料2

○概ね5年間で実施する取組

○:実施予定 ●:実施済み (以下同様)
H28.5の取組方針作成時の状況を示します。

具体的な取組の柱 事項	主な内容	目標時期	実施する機関				地域住民	平成28年度 取組実績	平成29年度 取組予定
			国	県	市	静岡			
具体的取組 安倍川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●				
静岡地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●				

1)ハード対策の主な取組

■土砂を含む流れの速い洪水を洪水を河川内で安全に流す対策									
①浸透対策(堤防の質的強化) ②流下能力対策(堤防整備、河道掘削) ③河岸侵食・洗掘対策(低水護岸整備、水制工(巨石付き盛土砂州))	・堤防整備、河道掘削、河川改修等	引き続き実施	●静岡 河川					引き続き実施	引き続き実施
■危機管理型ハード対策									
①天端の保護	・天端の保護	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川					平成28年度から実施	平成29年度完了予定
■被害軽減のための迅速かつ的確な避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備									
①「避難行動や水防活動の基準となる雨量・水位等の観測データ」「洪水時の状況」の把握及び情報を伝達するための基盤整備	・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備	引き続き実施	●静岡 河川	活用	活用	活用		引き続き実施	引き続き実施
②堤防監視の効率化及び水防団等の巡視支援の取組として、急流土砂河川であり河岸侵食や洗掘が多く発生しているため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	平成28年度から順次 実施	●静岡 河川					引き続き実施	引き続き実施
③迅速な水防活動を支援する新技術を活用した水防資機材の配備検討及び訓練	・水のう等の配備検討 ・水のう等の活用訓練の検討	平成29年度から順次 実施	○静岡 河川		○			平成28年度から実施	引き続き実施
④洪水氾濫時に緊急対応等に支障が生じないために庁舎等の耐震化	・安倍川出張所の非常用電源施設を移設	平成29年度から順次 実施	○静岡 河川					—	平成29年度から実施
⑤決壊等が発生した場合、被害を最小限に抑えるため、迅速に水防活動及び緊急復旧活動を行う拠点として河川防災拠点等の検討・整備	・河川防災拠点等の検討・整備	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川					平成28年度から実施	引き続き実施

2)ソフト対策の主な取組 ①迅速な避難と被害の最小化に向けた地域住民の防災意識向上のための取組

■平常時からの住民等への周知・教育・訓練									
①想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の策定・公表	・洪水浸水想定氾濫区域図・氾濫シミュレーションの策定・公表	平成28年度出水期 前まで	○静岡 河川	活用	活用	活用		平成28年度完了	
②想定最大規模降雨を対象とした氾濫シミュレーションの作成・公表	・氾濫シミュレーションの作成・公表	平成28年度～	○静岡 河川	活用	活用	活用		平成28年度から実施	平成29年度完了予定
③想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図を基にした洪水ハザードマップの作成・周知	・洪水ハザードマップの作成・周知	平成28年度内			○	活用		平成28年度から実施	引き続き実施
④地域住民及び小中高等学校における水災害教育の実施	・市内小中学校の総合学習事業の中で、水災害教育に取り組んでいく	引き続き実施	●静岡 河川 ●気象 台	●	●	参加		引き続き実施	引き続き実施
⑤「水防災意識社会」再構築に役立つ啓発資料の作成 (パンフレット、副読本等)	・住民目線のわかりやすく利用しやすい啓発資料の作成	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○	活用		平成28年度から実施	引き続き実施
⑥関係機関と協力・連携した普及啓発活動の実施 (出前講座、ワークショップ等)	・各機関が実施してきた講師派遣やイベントに相互協力・支援を行い、普及啓発に取り組んでいく	平成28年度から順次 実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○	活用		引き続き実施	引き続き実施

安倍川取組状況一覧

資料2

○:実施予定 ●:実施済み (以下同様)
H28.5の取組方針作成時の状況を示します。

○概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱 事項	主な内容	目標時期	実施する機関				地域住民	平成28年度 取組実績	平成29年度 取組予定
			国	県	市	静岡 岡			
安倍川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●				
静岡地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●				

2)ソフト対策の主な取組 ②逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

■情報伝達の強化、避難計画等の策定

①タイムラインの検証及び改善に向けた見直しの検討	・現在のタイムラインを検証し、見直しを図っていく	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
②上記①のタイムラインを踏まえた水害対応チェックリストの検証及び改善検討	・現在策定した水害対応チェックリストの検証、改善の検討を行う	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
③河岸侵食や洗掘により決壊が予想される場合のタイムラインの策定	・河岸侵食や洗掘による場合のタイムラインの策定	平成29年度から順次実施	○静岡 河川		○			平成28年度から実施	引き続き実施
④気象台HPにて、気象情報の「危険度の色分け」や「警報級の現象」を分かり易く情報提供	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供	平成29年度から順次実施	○気象 台	活用	活用	活用		平成28年度から実施	平成29年度完了予定
⑤安倍川上流域の迅速な状況把握及び関係機関への情報提供・情報共有	・安倍川上流域の迅速な状況把握 ・関係機関への情報提供・情報共有	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
⑥「安倍川総合土砂管理計画」を踏まえた河床高等の監視	・河床高の監視	引き続き実施	●静岡 河川	●				引き続き実施	引き続き実施
⑦発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法の改善	・洪水予報文、伝達手法の改善	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	共有	活用	活用		平成28年度完了	
⑧洪水対応情報伝達演習の実施	・情報伝達の相手先・手段・内容等を確認するための洪水対応演習を実施	引き続き実施	●静岡 河川 ●気象 台	●	●			引き続き実施	引き続き実施
⑨首長等と静岡河川事務所長とのホットラインの連絡訓練	・緊急時を想定した首長等と静岡河川事務所長とのホットラインの連絡訓練	平成28年度から定期的に実施	○静岡 河川		○			平成28年度から実施	引き続き実施
⑩要配慮者施設における避難計画の策定及び訓練	・計画が未作成、訓練が未実施の機関に対して作成・実施を呼びかける。	平成28年度から順次実施	○静岡 河川		●			引き続き実施	引き続き実施
⑪きめ細やかな情報連絡・情報共有を密にするための情報連絡室(関係機関との情報ネットワーク(階層別連絡網))の改善	・情報連絡室(関係機関との情報ネットワーク(サブホットライン))の改善	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	○	○			平成28年度から実施	引き続き実施
⑫大規模氾濫における二線堤を最大限活用するための陸閉閉鎖を考慮した避難計画の検討	・陸閉閉鎖を考慮した避難計画の検討	平成28年度から順次実施	○静岡 河川		○	参加		—	平成29年度から実施
⑬洪水時のCCTVカメラによる堤防監視、施設監視の強化	・CCTVカメラによる堤防監視、施設監視の強化	平成28年度から順次実施	○静岡 河川	共有	活用			平成28年度から実施	引き続き実施

■避難行動を促す活動

①住民の避難行動を促すためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信・普及活動の実施	・スマートフォン等を活用したリアルタイム情報提供やプッシュ型情報等の普及活動の実施	平成28年度から順次実施	○静岡 河川 ○気象 台	●	●	活用		引き続き実施	引き続き実施
②避難情報に関する意見交換会の実施	・避難情報に関する関係機関による意見交換会を行い、情報交換・情報共有等の実施	引き続き実施	●静岡 河川 ●気象 台	●	●			引き続き実施	引き続き実施

安倍川取組状況一覧

資料2

○:実施予定 ●:実施済み (以下同様)
H28.5の取組方針作成時の状況を示します。

○概ね5年間で実施する取組

具体的な取組の柱	事項	主な内容	目標時期	実施する機関				地域住民	平成28年度取組実績	平成29年度取組予定
				国	県	市	静岡			
	安倍川 大規模氾濫に関する減災対策協議会	協議会・幹事会の開催	毎年出水期前	●	●	●				
	静岡地域 豪雨災害減災協議会	協議会・幹事会の開催	適時	●	●	●				

2)ソフト対策の主な取組 ③洪水氾濫による被害の軽減のための迅速な水防活動・排水活動の取組

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	引き続き実施				●		引き続き実施	引き続き実施
②関係機関が連携した実働水防訓練、重要水防箇所等の合同点検の実施	・実働水防訓練の実施 ・重要水防箇所等の合同点検の実施	引き続き実施		●静岡 河川	●	●	参加	引き続き実施	引き続き実施
③地域住民や水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	・水防団・消防団、自治体及び地域住民が参加し、水害リスクの高い箇所の共同点検の実施	引き続き定期的に実施		●静岡 河川	●	●	参加	引き続き実施	引き続き実施
④水防団の高齢化が進んでおり若年層の入団促進、水防団等に対する水防技術の伝承のための教材の作成、団員や小中高等学校への普及啓発活動の実施	・水防団等に対する水防技術の伝承のための教材の作成 ・団員や小中高等学校への普及啓発活動の実施	平成28年度から順次実施		○静岡 河川	○	●		引き続き実施	引き続き実施
⑤迅速な水防活動を支援するためのスマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の普及活動を実施	・スマートフォン等を活用したリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報等の普及活動を実施	平成28年度から順次実施		○静岡 河川	○	●		引き続き実施	引き続き実施
⑥水防団等の巡視支援のためにCCTVカメラ映像の提供	・水防団等の巡視支援のため、CCTVカメラ映像の提供	引き続き実施		●静岡 河川	共有	●		引き続き実施	引き続き実施
⑦陸開の閉鎖手順を確認するための訓練の実施	・陸開の閉鎖訓練の実施	引き続き実施		●静岡 河川		●		引き続き実施	引き続き実施
⑧迅速かつ的確な水防活動のために水防団等と河川管理者との意見交換会を実施	・水防団等との意見交換会	平成28年度から定期的に実施		○静岡 河川	○	●		-	平成29年度から実施
⑨迅速かつ的確な水防活動のために土のうステーション(備蓄砂置き場等)の設置	・土のうステーション(備蓄砂置き場等)の設置	平成28年度から順次実施		○静岡 河川		○		平成28年度から実施	引き続き実施

■排水計画(案)の見直し及び排水訓練の実施

①氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)の見直し	・排水計画(案)を見直しの実施	平成28年度		○静岡 河川	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
②排水計画(案)に基づく排水訓練及び関係機関との合同訓練等の実施	・排水訓練の実施	平成28年度から順次実施		○静岡 河川	○	○		平成28年度から実施	引き続き実施
③堤防決壊時の対応(情報伝達、復旧工法の検討、排水計画の検討など)を演習することを目的に、堤防決壊シミュレーションの実施	・堤防決壊時の対応演習(情報伝達、復旧工法の検討など)	引き続き実施		●静岡 河川				引き続き実施	引き続き実施